

---

# 遊戯王 G X 太陽龍と月光龍と十二宮

サイレント

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

遊戯王GX太陽龍と月光龍と十二宮

### 【Nコード】

N2124V

### 【作者名】

サイレント

### 【あらすじ】

神に間違ひによつて死んでしまった紫雲蒼也しかし女神はそれでは悲しすぎると思い天使に彼を転生させてあげなさいと言つたそして天使は蒼也に転生しますか？と聞いたそれを聞いた蒼也は転生の道を選んだ果たして蒼也にどんな運命が待っているか？

タイトルを変えました。

## とつぜんの死そして転生（前書き）

皆さん初めましてサイレントです。

カードを使つての小説は初めてなのでうまく書けるか？分かりませんが書いていきたいと思います。

## とつぜんの死そして転生

「やったー当たった!」

「当たったって何が当たったの?」

「これだよこれ!」

「どれ、これってサジット・アポロドラゴンじゃないか!」

「そうなんだよ!今日はついているな」。

「良かったな蒼也!」

「そう言えば冬矢は何が当たったのさ?」

「ふふん見て驚くなよ」

と言って冬矢は一枚のカードを見せた

「これってストライクヴルム・レオじゃん!」

「そうなんだよ!お互いに欲しかったカード当たって良かったな!」

「そうだね。」

僕たちはお互いに欲しかったカード当たって共に喜んだ。

あっ自己紹介してなかったね僕の名前は紫雲蒼也そして共に喜んで

いるが僕の親友の霧谷冬矢って言っんだ。

「おゝい蒼也、ぼゝとしてるけど大丈夫か」

「えっああ大丈夫だよ。」

「そっか、あつ俺こっちの道だからじゃあまた明日な。」

「うんまた明日」

僕は冬矢と別れて家に向かったそして横断歩道を渡ろうとしたとき、突然車がやって来て僕は…引かれてしまった僕は意識を失う前に冬矢とまた戦いたかったな…と思いながら意識を失った。

「あれここはどこだろう」

真っ白な空間で僕は目覚めました。ここはどこだろうと思い辺りを見てふと後ろを向くと一人の女性が立っていた

「あゝあなたは誰でここはどこですか？」

僕は立っていた女性に聞くとその女性はとっぜん謝ってきた

「私は天使です。そしてごめんなさい。あなたを死なしてしまって」

「えっどうゆうことですか？」

「実は…」

彼女は教えてくれた僕は死ぬことはなかったらしいでも神様が間違っ  
てしまい僕は死んでしまったそしてあまりにもそれは悲しすぎると女神が  
思い天使に僕を転生させてあげなさいと言われて僕が目覚ますのを待っ  
ていたらしい。

「じゃあ僕は第2の人生を歩む事が出ると言う事ですか。」

「そうですね。」

「僕は転生します。えっとうろしくお願いします。」

僕が天使に言う

「わかりました。それでは」

天使がそう言う。僕の後ろに大きな門が現れてそして扉が開いた

「この門をくぐれば転生できますよ」

「わかりました。」

「それでは新しい人生を楽しんでください。」

天使にそう言われて僕は門をくぐった。あつどこの世界に転生する  
のか聞くのを忘れちゃった。

まあいいやこれから始まる新しい人生を楽しみましょう。

## とつぜんの死そして転生（後書き）

いかがでしょうか？更新はけっこう遅いかも知れませんが頑張っていきたいと思います。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2124v/>

---

遊戯王GX太陽龍と月光龍と十二宮

2011年11月15日19時33分発行